

令和2年度消費・安全対策交付金（食料安全保障確立対策推進交付金）の成果及び評価報告書

1. 令和2年度消費・安全対策交付金（食料安全保障確立対策推進交付金：ソフト事業）（令和2年度当初予算分）

目的	目標	事業実施主体	目標値	実績	達成度	評価	所要額 実績 (円)	交付金 相当額 (円)	県による評価の概要
I 農畜水産物の安全性の向上	農薬の適正使用等の総合的な推進	和歌山県	農薬の不適切な販売及び使用の発生割合 目標値：0%	0%	100%	A	1,904,310	941,000	研修会の開催や、啓発資料の活用等により、農薬の使用者・販売者に対して、適正な取り扱いをするよう指導を行った。 農薬残留調査の1例目が終了したことは、本県の特産作物であるさんしょうの防除薬剤の登録に繋がるものとして期待できる。 今後も引き続き、農薬販売者や使用者への指導に取り組み、不適切な販売及び使用の発生率0%を維持するとともに、農薬残留検査の2例目を実施し、防除薬剤の登録拡大を目指す。
II 伝染性 疾病・ 病害虫 の発生 予防・ まん延 防止	家畜衛生の推進	和歌山県	家畜衛生に係る取組の充実度 目標値：101.2%	111.7%	110%	A	12,552,967	6,187,000	取組みの充実度については、目標値101.2%に対して、実績111.7%と目標を達成できた（達成度110%、評価A）。 これは、各農場で問題となっている疾病や病原体に対し、感染状況や家畜の健康状態を把握するための検査を行って、必要な指導を実施した結果、各種疾病による被害低減につながったと考えられる。今後も上記取組みを継続して行い、家畜の伝染性疾病の発生予防・まん延防止に努める。
	養殖衛生管理体制の整備	和歌山県	養殖衛生管理指導を実施した経営体数の養殖等経営体総数に占める割合 目標値：100%	100%	100%	A	1,834,000	917,000	新型コロナウイルスがまん延する中、リモートで会議や研修に出席し、また、県内養殖衛生対策会議を書面開催とする等工夫し、コロナ渦においても積極的に情報収集・提供を行った。養殖衛生管理指導件数については、目標値である50経営体を達成し、防疫パトロールも129回（延べ）と前年度と同じレベルで実施するなど、魚病の発生予防・まん延防止に努めた。 今後も継続して、魚病の発生予防・まん延防止に努めるとともに、安心・安全な養殖生産物の供給を維持するため、巡回指導・水産用医薬品の適正使用指導等に努めなければならない。
	病害虫の防除の推進	和歌山県	薬剤抵抗性をはじめとする難防除病害虫・雑草の防除体系等における作業の現状からの向上率 目標値：143%	150%	105%	A	2,201,782	1,099,000	本事業の実施により、本県の主要品目における重要な病害虫（イチゴのナミハダニ、カンキツ緑かび病、モモせん孔細菌病、ウメかいよう病）の簡易な薬剤感受性検定手法を確立するという目標を達成することができた。現場で実践できる技術であることから薬剤抵抗性病害虫対策として役立つものとする。今後はこれらの検定手法の普及に取り組みたい。 キュウリ褐斑病に対する品種の耐病性程度が明らかになった。当該品種を有効活用することで農薬に頼らない防除対策が可能となる。本病の防除対策として有望な技術と考えられることから、今後は生産現場に導入されるよう普及に取り組みたい。 薬剤抵抗性が発達しやすいため化学合成農薬に頼ることができないミカンハダニに対し、物理的な殺虫効果を持つ数種の農薬の効果を明らかにすることができた。そしてその成果について普及を目的とした周知を行い、目標を達成することができた。ミカンハダニの抵抗性対策として有望な技術と考えられることから、今後は生産現場に導入されるよう普及に取り組みたい。
			農薬に頼ることができない病害虫・雑草の発生状況に応じた管理手法等の普及取組数 目標値：6回	7回	117%	A	1,486,914	742,000	
重要病害虫の特別防除等	和歌山県	対象病害虫の調査の総回数 目標値：488回	488回	100%	A	370,000	370,000	本事業の実施によりミバエ類、コドリング、カンキツグリーンング病菌及びスイカ果実汚斑細菌病菌の発生は認められず、県内への侵入はないことを確認できた。今後も重要病害虫の侵入を警戒するため、引き続き侵入状況の把握に努める必要がある。	
総計・総合評価					107%	A	20,349,973	10,256,000	

目的	目標	事業実施主体	目標値	実績	達成度	評価	所要額 実績 (円)	交付金 相当額 (円)	県による評価の概要
特別交付型交付金									
Ⅱ 伝染性 疾病・ 病害虫 の発生 予防・ まん延 防止	家畜衛生の推進	和歌山県	高病原性鳥インフルエンザ及び豚熱のまん延防止	高病原性鳥インフルエンザ及び豚熱のまん延防止	達成	適正	2,379,551	971,000	高病原性鳥インフルエンザ及び豚熱防疫指針に基づき、殺処分、死体の埋却及び焼却、汚染物品の処理、消毒ポイントにおける車両消毒等を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザ及び豚熱が続発することなく、防疫措置を完了することができた。
	病害虫の防除の推進	和歌山県	クビアカツヤカミキリの発生抑制	クビアカツヤカミキリの発生抑制	達成	適正	5,219,525	2,609,762	本事業の実施により、クビアカツヤカミキリに対する各薬剤の防除効果や散布時期を明らかにするとともに、樹体内幼虫の非破壊探索手法の可能性を見出した。また、県内のモモ、スモモ、ウメ産地の生産者等に対して、当害虫の防除対策の重要性について広く啓発、指導できた。引き続き、当害虫の被害拡大を防止するために、効果的な防除法の確立と生産者に対して防除対策の重要性を啓発、指導を行う。
総計・総合評価					達成	適正	7,599,076	3,580,762	

2. 令和2年度消費・安全対策交付金（食料安全保障確立対策推進交付金：ソフト事業）（令和元年度補正予算繰越分）

目的	目標	事業実施主体	目標値	実績	達成度	評価	所要額 実績 (円)	交付金 相当額 (円)	県による評価の概要
特別交付型交付金									
Ⅱ 伝染性 疾病・ 病害虫 の発生 予防・ まん延 防止	重要病害虫の特別防除等	和歌山県	ツマジロクサヨトウのまん延防止の調査回数 目標値：65回	66回	達成	適正	100,000	100,000	本事業の実施によりツマジロクサヨトウが本県へも飛来していることが明らかになったが、寄主作物での幼虫の発生は認められなかった。スイートコーン圃場では慣行防除が実施されていることから、被害に繋がらなかったと考えられた。本虫は今後も飛来すると考えられることから、啓発・防除指導に努める。
	総計・総合評価					達成	適正	100,000	100,000